

当社のインフラ技術者教育とは

クラウドコンピューティングや仮想化技術の発達に伴い、インフラ(基盤)系と呼ばれるサーバーエンジニアやネットワークエンジニアといった技術者に求められる技術は多様化しています。

また、ソフトウェア開発技術者においても、今やインフラ系の知識を常識的に求められつつあります。

そんな現状においても、インフラ系の教育プログラムは充実しているとは言い難く、現場のエンジニア目線とは乖離した内容も多くあります。

当社の教育プログラムは現場で求められている教育内容と一般的なセミナーの内容のギャップを埋めるべく、豊富な経験を持つ現役技術者が実践を交えた講義を行います。活きた技術を学びたい・現場で求められるスキルを身に着けたいといったご要望にお応えします。



教育プログラム紹介

インフラ基礎入門

時間：3時間
対象者：インフラ系未経験者
インフラ系技術者としての基礎的な知識について解説。

基盤系Oracle入門

時間：3時間
対象者：ソフト系データベース技術者
基盤系作業におけるOracleセットアップ概要等について解説。

仮想化入門

時間：3時間
対象者：全員
インフラ系技術者としての基礎的な知識について講義します。

IPv4→IPv6対応概略

時間：3時間
対象者：インフラ系技術者
間近に迫ったIPv6対応について、注意する点等をご紹介します。

基盤系Oracle実践

時間：15時間(2日間)
対象者：インフラ系技術者
Oracleのセットアップ、チューニング技法の実践。

Hyper-V・VMWareを用いた仮想化実践

時間：15時間(2日間)
対象者：インフラ系技術者
仮想化環境の構築における注意点等について実践形式で学ぶ。

標準価格例：1名1コマ(3時間)あたり ¥8,400-(税込)

講義内容、時間、費用についてはご相談に応じます。



福井 宏和
(fukui hirokazu)

株式会社イー・ビー・エル
基盤ソリューショングループ
グループリーダー

【講師略歴】

1977年生まれ。
2001年大阪府立大学経済学部卒業
2001年TIS株式会社入社
大手証券会社向けNotesシステムのインフラ部分(サーバー・ネットワーク)の運用・保守をメンバーとして担当後、財団法人向けシステム再構築案件にてホストベースの基幹システムをWindowsベースのサーバにリプレースする基盤部分の取り纏めを担う。
2007年株式会社野村総合研究所入社
Vmwareの新バージョン(ESX Server)に関して社内の技術部門向けにレポートを作成しプレゼンテーションを実施する。また、野村総合研究所で手がけているすべての情報処理サービスを対象に、インフラ部分に関するシステムセキュリティの監査、および改善指導を対応する。
2011年株式会社イー・ビー・エル入社
Bladeサーバーソリューションと仮想化(Vmware、LPAR)を組み合わせた構築案件を対応する傍ら、社員育成活動として基盤ソリューショングループのスキルアップにも力を入れている。

【保有資格】

ITIL Foundation Certificate、JP1 Engineer、Oracle Master、Vmware Certified Professional 他